

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 29. 8. 10 第 193 回国会第 9 号（閉会中審査）

8 月 10 日（木）、第 9 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 熊田裕通君（自民）（理事小野寺五典君去る 3 日委員辞任につきその補欠）

2 国の安全保障に関する件（特別防衛監察の結果等）

- ・特別防衛監察の結果等について、小野寺防衛大臣から報告を聴取しました。
- ・小野寺防衛大臣、ふくだ内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

浜地雅一君（公明）

- ・特別防衛監察の結果及びこれについての公明党のヒアリングで防衛省に対する厳しい意見が出されたことについて、小野寺防衛大臣の受止めを伺いたい。
- ・特別防衛監察における事実認定は、十分な聴取及び必要な資料の収集に基づくものであるか、防衛監察本部に伺いたい。
- ・特別防衛監察の結果を受けた再発防止策、防衛省の組織改革及びガバナンス強化について、小野寺防衛大臣に伺いたい。

升田世喜男君（民進）

- ・特別防衛監察の結果を見ても陸上自衛隊に存在した日報データの取扱いに関する稲田元防衛大臣の関与が曖昧であることから、当事者である稲田元防衛大臣自身が国会に出席し説明すべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・防衛監察本部は、平成 29 年 2 月 13 日の大臣説明に関し、陸上自衛隊における日報データの存在について稲田元防衛大臣に対し報告があったとする者、なかったとする者などがそれぞれ複数名いると説明しているが、どの発言が多数を占めていたかを確認するためにも、それぞれ発言者の人数を明らかにすべきと考えるが、防衛監察本部に伺いたい。
- ・今回の特別防衛監察は稲田元防衛大臣の指示のもと始まったが、その指示をした元大臣が防衛監察本部から聴取を受けるという事態に至ったことから、第三者機関による再調査を行うべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

玉木雄一郎君（民進）

- ・北朝鮮がグアム周辺に向けて弾道ミサイルを発射することを計画しているとの報道があったが、PAC-3 の空白地帯である島根県、広島県及び高知県の上空を通過すると想定されていることから、早急に対策を講じるべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・本委員会の質疑において、辰巳前統合幕僚監部総括官が特別防衛監察での自身の証言内容に関する答弁を拒否する法的根拠について、政府の見解を伺いたい。
- ・防衛監察本部に提出された陸上自衛隊の報告書、特別防衛監察における関係部署のそれぞれの主張の比較表及び稲田防衛大臣へ報告をしたことを示す報道された防衛省職員の手書きメモについて、調査をした上で国会に提出すべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

後藤祐一君（民進）

- ・我が国に能力向上型迎撃ミサイル（SM-3 ブロック II A）が配備されれば、北朝鮮が弾道ミサイルをグアムに向けて発射した場合に存立危機事態と認定して、集団的自衛権を行使して迎撃することは可能か、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・現時点での我が国の敵基地反撃能力の保有の是非及び新たな防衛大綱にこれを盛り込む可能性の有無について、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・特別防衛監察を実施すれば、その調査の過程で得られた情報は情報公開法第 5 条第 6 号に定める不開示情報に該当するとして、国会での答弁を差し控えることができるのであれば、シビリアンコントロールの一環としての国会の役割を果たし得ないことになるかと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

笠井 亮君（共産）

- ・平成 29 年 8 月 5 日に豪州で墜落したMV-22 オスプレイと同じ普天間基地所属のオスプレイ 6 機が参加する予定の北海道での日米共同訓練は中止すべきと考えるが小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・南スーダンPKO部隊の日報を不当に廃棄する行為は刑法第 258 条の公用文書等毀棄罪に該当する疑いがあるが小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・安倍内閣総理大臣は国会答弁で日報問題について「早くから問題になっておりましたから、その説明を受けたことはあ」と述べる一方、稲田防衛大臣は記者会見で安倍内閣総理大臣に説明していないと述べており、安倍内閣総理大臣に対しては黒江前事務次官と豊田前官房長が説明したのではないかと考えるが、小野寺防衛大臣に事実を確認したい。

吉田 豊 史君（維新）

- ・特別防衛監察の実施目的、成果及び監察手法が適切であったかどうかについて、防衛監察本部の見解を伺いた

い。

- ・南スーダン派遣施設隊日報問題は、誰に対して何が問題であるのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・日報が開示されなかったことに関し、情報公開や意思疎通の問題にとどまらず、防衛省における構造的な問題を突き詰める必要があると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

照屋 寛 徳君（社民）

- ・平成 29 年 2 月 13 日と 15 日の会議において日報データの存在に関する稲田元防衛大臣の発言はあったのか、また、稲田元防衛大臣は部下の報告を無言のまま了承したということか、防衛監察本部の説明を伺いたい。
- ・一連の日報問題に関しシビリアンコントロールの在り方が大きく揺らいでいると考えるが、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・豪州でのMV-22 オスプレイの事故（平成 29 年 8 月 5 日）を受けて小野寺防衛大臣から飛行自粛要請をしたにもかかわらず、米軍が飛行を再開したことに対し、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。